新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 情報公開文書

① 研究課題名	臨床検査値およびゲノム情報から探索する認知症の環境的遺伝的リスク解析
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>対象者①：BBJに登録された検体。対象期間：2003年-。本課題は新規課題である。</p> <p>対象者②：新潟大学を含むブレインバンク施設とその他共同研究機関において、ご遺族からの同意を得て病理解剖を行った症例のうち、遺伝子解析に同意をいただいた検体。対象者②は申請番号G2018-0034の課題に由来する。</p>
③ オプトアウトの概要	本研究ではBBJでリクルートされた検体およびG2018-0034の課題の検体の電子データを扱うため、新潟大学ではオプトアウトにより同意撤回されたデータを除外して用いる。
④ 申請番号	G2025-0004
⑤ 研究の目的・意義	アルツハイマー病型認知症は老化などの環境的要因に加え、遺伝的要因によって発症する多因子疾患です。この複雑な病態を理解するために、遺伝子情報と臨床所見や臨床検査データとの関連を調べることが重要です。本研究ではBBJに参加されたご検体の遺伝子情報や臨床データを用い、その関係性を解析します。本研究によって創薬等の開発の推進が期待されます。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2030年04月22日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	本研究ではBBJ事業（オーダーメイド医療実現化プロジェクト）に参加した約26万人の方々の遺伝子情報や臨床データを用い研究を行います。様々な統計解析を行いそこから得られた値を論文や学会で発表しますが、個人を特定できるような遺伝子情報などは開示しません。
⑧利用または提供する情報の項目	本研究では遺伝子情報や臨床データに関する情報を扱います。
⑨利用する者の範囲	新潟大学で遺伝子解析情報や臨床情報を利用いたします。 新潟大学・脳研究所・遺伝子機能解析学分野 菊地正隆
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学・脳研究所・遺伝子機能解析学分野 准教授 宮下哲典
⑪お問い合わせ先	本研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学・脳研究所・遺伝子機能解析学分野 氏名：菊地正隆 Tel：025-227-2344

	E-mail : kikuchi@bri.niigata-u.ac.jp
--	---